

経営体の概要

- ・所在地:長野県安曇野市堀金烏川
- ・経営体名:有限会社 S農園
- ・栽培作物・作付面積:水稻32ha・小麦26ha・大豆15ha、
そば13ha・その他2ha(ビール麦・野菜・
ホップ・ラズベリー等)
- ・従業員数:7名(令和5年7月現在)

導入技術

MG-1K((株)クボタ製)

- ・1回のフライトで約1ha分の農薬散布が可能。
- ・散布装置を付け替えることで液剤と粒剤両方の散布が可能(タンク容量は10ℓ・10kg)。
- ・高精度なミリ波レーダーで正確な高度維持が可能。
- ・折りたたみが簡単で、軽トラックで運搬が可能。

導入経緯

- 基盤整備事業完成を機に経営規模が拡大。炎天下の重労働である防除作業の省力化が急務となった。
- 園芸品目との複合化を進める上でも省力化は重要。
- そこで水田などの防除作業の省力化を目的に、平成30年に農薬散布用ドローンを導入した。

取組の特徴・効果

- 中山間地域の小区画水田における防除作業にも活用。また、複数のバッテリーを準備し、連続作業を可能とし、令和3年度は水稻55ha、大豆10haの防除作業を実施。
- 従来ラジヘリで実施していた防除作業と比較し、作業時間は若干多くなったが、防除作業の精密化と音が静かなため宅地近くでの作業がしやすくなった。
- リモートセンシングの進歩による生育診断(生育量、葉色)、肥培管理の効率化にも期待している。

【MG-1K】



本体



軽トラックで運搬



散布作業